

「徳島県国土強靱化地域計画」の改定(案)

I 国土強靱化関係の補助金・交付金事業の追加

地方公共団体等が実施する国土強靱化関係の補助金・交付金事業に対して、国土強靱化予算の「重点化」「要件化」等により、地域の国土強靱化の取組を一層促進するとの国の方針を踏まえ、「徳島県国土強靱化地域計画(案)」に国土強靱化関係の補助金・交付金事業を追加。

<重点化>

地域計画に明記された事業に対して「重点配分」「優先採択」等

<要件化>

地域計画に基づき実施される取組又は明記された事業であることを交付要件とする「要件化」を検討(令和3年度～)

II 項目の追加等

【1. 取組の追加】

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

2-6)被災地における感染症等の大規模発生					
実施する取組					
新規	○ 避難所開設における新型コロナウイルス感染症対策を強化するため、市町村が行う必要な物資・資機材の整備等を支援するとともに、通常の災害発生時より多くの避難所の確保等に取り組む。				
	重要業績指標			目標(案)	取組内容
目標追加	・「避難所開設における新型コロナウイルス感染症対策対応方針」の策定			策定 (R2)	避難所開設における新型コロナウイルス感染症対策を強化するため、「避難所開設における新型コロナウイルス感染症対策対応方針」を策定する。
	現況	- (R1)	目標		
目標追加	・対応方針に基づく検討要領(基準)の作成			作成 (R2)	「避難所開設における新型コロナウイルス感染症対策対応方針」に基づき、検討要領(基準)を作成する。
	現況	- (R1)	目標		
新規	○ 避難所運営における感染症対策を推進するため、市町村が行う避難所の感染対策の通知及び市町村版避難所運営マニュアル作成の支援を行う。				
新規	○ 福祉避難所における感染症対策を推進するため、市町村が行う福祉避難所の感染症対策に必要な資機材の整備等を支援する。				

【2. 重要業績指標の見直し】

1 大規模自然災害が発生したときでも、すべての人命を守る

1-4) 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生					
	重要業績指標			目標(案)	取組内容
目標修正	・県管理河川(重点対策河川)の整備の推進			<u>83%</u> (R4)	那賀川・海部川などの重点対策河川(県管理河川)で洪水を安全に流すための堤防整備や河道掘削などを実施している。 国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により、整備を加速したため、目標を上方修正し、浸水被害軽減に努める。
	現況	70%(H30)	目標		
目標追加	・小見野々ダム再生の促進			調査促進中 (R4)	「小見野々ダム再生事業」の新規事業化が認められたため、国と連携・協力し、調査を促進する。
	現況	-(R1)	目標		
目標追加	・ファミリータイムラインの作成			<u>7地区</u> (R4)	近年の豪雨災害では、逃げ遅れによる犠牲者が相次ぎ、住民の避難するタイミングの難しさが課題となっている。 災害発生前に、家族で「いつ」「誰が」「何をするか」に着目し、時系列で整理した避難行動計画を決めておく「ファミリータイムライン」を作成しておくことが重要であるため、作成支援に取り組み、避難意識醸成を図る。
	現況	1地区(R1)	目標		

1-5) 大規模な土砂災害(深層崩壊)や大雪等による多数の死傷者の発生					
	重要業績指標			目標(案)	取組内容
目標修正	・地域防災計画に位置づけられた避難路について、土砂災害対策と併せた保全の推進			<u>15箇所</u> (R4)	土砂災害の軽減を目的にハード対策を実施している。 国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により整備を加速したため、目標を上方修正し、土砂災害被害軽減に努める。
	現況	-(H30)	目標		

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

2-1)被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止						
2-2)多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生						
	重要業績指標			目標(案)	取組内容	
目標修正	・四国横断自動車道 立江・櫛淵地区への追加IC設置				工事推進中 (R4)	立江・櫛淵地区への追加IC設置のため、関係機関との調整等を実施した結果、令和元年に連結許可を取得し、用地調査を進めている。目標を上方修正し、用地取得後は速やかに工事着手し、事業を推進する。
	現況	調査設計中(H30)	目標	用地買収推進中(R4)		
目標修正	・県管理河川(重点対策河川)の整備の推進(再掲)					
目標追加	・小見野々ダム再生の促進(再掲)					
目標追加	・自立・分散型エネルギーの普及拡大				支援 (R3)	県内市町村による小水力発電導入を目指し、「小水力発電事業化プラン」を策定し、プラン策定後の事業化に向けて、当該市町村に対し技術支援等を実施する。
	現況	計画策定(R1)	目標	-(新規)		
2-5)医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺						
	重要業績指標			目標(案)	取組内容	
目標追加	・自立・分散型エネルギーの普及拡大(再掲)					

5 経済活動を機能不全に陥らせない

5-5)食料等の安定供給の停滞						
	重要業績指標			目標(案)	取組内容	
目標追加	・漁港・漁港海岸等の地震・津波対策の実施数(累計)				11箇所 (R4)	地震・津波に対する漁港及び背後集落の安全確保のため、漁港施設の地震・津波対策を推進する。
	現況	10箇所(R1)	目標	-(新規)		
目標追加	・藻場造成箇所数(累計)				30箇所 (R4)	水産資源の増殖を図るため、藻場の造成を推進する。
	現況	25箇所(R1)	目標	-(新規)		

6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

6-1) 電力供給ネットワーク(発電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期にわたる機能の停止			
	重要業績指標	目標(案)	取組内容
目標追加	・自立・分散型エネルギーの普及拡大(再掲)		

6-4) 陸海空の交通インフラの長期間にわたる機能停止			
	重要業績指標	目標(案)	取組内容
目標修正	・県管理河川(重点対策河川)の整備の推進(再掲)		
目標追加	・小見野々ダム再生の促進(再掲)		

7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない

7-4) ため池、防災インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂の流出による多数の死傷者の発生			
	重要業績指標	目標(案)	取組内容
目標追加	・小見野々ダム再生の促進(再掲)		
目標修正	・地域防災計画に位置づけられた避難路について、土砂災害対策と併せた保全の推進(再掲)		

8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

8-3) 広域地盤沈下等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復興が大幅に遅れる事態			
8-5) 基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態			
	重要業績指標	目標(案)	取組内容
目標修正	・県管理河川(重点対策河川)の整備の推進(再掲)		
目標追加	・小見野々ダム再生の促進(再掲)		